



筑波大学 CEGLOC

日本語・日本事情遠隔教育拠点 主催



第1回

日本語教育とICT活用を考える

< 理念編 >

<理念編>では、各回さまざまな講師をお招きして、講師のICT活用に関する考え方をお話しいたします。また、フロアとの意見交換を通して、理解を深めることを目指します。

山田 智久（西南学院大学）

日本語教師とICTの親和性 ～技術受容モデルの観点から～



みなさんはICTに強い教師ですか。それとも弱い教師ですか。即答できる方、うーんと悩まれる方、いろいろだと思いますが、果たしてこの強い・弱いの判断基準は何によって形成されているのでしょうか。そもそもICTに強い教師とは存在するのでしょうか。

今回のウェビナーでは、日本語教師とテクノロジーの関係について技術受容モデル（TAM）の観点から一緒に考えてみたいと思います。

日時：2022年6月3日(金) 14時～16時

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー形式）

参加費：無料

参加申込：<https://forms.gle/jKhJtmu7F4ZPZmpv5>

参加者には開催2日前までにzoomのリンクをお送りいたします。
参加者多数の場合はお申し込みを制限する場合がございます。

お問い合わせ先：[jp-kyoten\(at\)un.tsukuba.ac.jp](mailto:jp-kyoten(at)un.tsukuba.ac.jp)

 [jp_kyoten](https://twitter.com/jp_kyoten)



<参加申込>



<拠点HP>



筑波大学CEGLOC日本語・日本事情遠隔教育拠点では、
<理念編>：じっくり考える講演会、<ツール編>：すぐに使えるコンテンツワークショップ
を目的として今後も開催を計画しております。皆様のご参加、お待ちしております。